## グローバルスズキ FAX ニュースレター

2017. 11.30号

本FAXは、お客様、お問い合わせいただいた方、お名刺を頂戴した方、サンプル請求して頂いた方にお送りしています。

## ■ 巻頭言

月日の経つのは早いもので、11月も今日で終わり、 明日から12月師走です。今年も、残念ながら大した 事も出来ずに終わってしまいそうです。

私の好きな言葉に進化論で有名なダーウィンの言

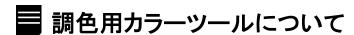
葉があります。

- ★ 1 時間を無駄に過ごすような人間は、まだ人生の 貴重さを発見していない。
- ★最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が

生き延びるのでもない。唯一生き残ることが 出来るのは、変化できる者である。

★自然淘汰とは、有用でさえあれば、いかに 小さな事であろうとも、保存されていくという 原理である。

これからもこの心構えで頑張って行こうと思います。 寒くなってきました。皆様もお体にご自愛ください。 (代表取締役 鈴木)



自動車補修の現場においては、カラーの多様化、技能者の不足、生産性向上の必要性等により、測色機器による調色作業の時間短縮・調色技能の補助が広まっています。今では多くのメーカーが測色システムを用意しており、導入済みの方も多いのではないでしょうか。

アクサルタ (旧・デュポン) は自動車補修業界における測色機のパイオニアですが、今月より新しい測色器「アクワイヤー・クアンタム」の発売を開始しております (既にご導入いただいているお客様もおります)。

アクワイヤークアンタムは以前のご案内の通り、使い 勝手だけでなく測色機能も向上しております。これまで は人の目で判断する必要があったメタリックの粗さ等も、 的確に判断してくれるようになりました。

一方で、そうした測色機器の機能進化と一般化により、役割を終えるカラーツールもあります。アクサルタでは、30年前から続く「オートペイントカラーズ」および20年前から続く「センタリ日本車ファンデック完成版」といったカラーチップツールが今年で製造終了となります。

「職人がカラーチップを見て判断」から、「機械が判断」へ。調色作業においては、作業者による調色作業のスピードや品質のムラ(経験値の差)が減る方向にあります。測色機器・ITを使った調色システムは、今後も進化してゆくのだと思います。

## ■ ワタシのオススメ

今月の担当:佐々木(本社勤務)



最近、ストレッチをよくするようになりました。仕事でパソコンに向かっていることが多いためか、特に肩周りがガチガチで、疲れ目・腰痛も。マッサージに行ったりしたのですが、根本解決を目指してストレッチをすることにしました。

ジムでトレーナーにストレッチをしてもらうと、思わず笑ってしまうぐらい体が硬いとのこと。それでも、 努力の甲斐あってか、やっと立位前屈で指先が床につくようになりました。嬉しいものですね。

本ニュースレターは、お客様、お名刺を頂戴した方、 お問合せやサンプルを請求頂いた方にお送りしています。 ご不要の場合は、お手数をおかけして申し訳ございませんが、 下記にチェックし、貴社名をご記入の上ご返信ください。

→ □ニュースレターの配信を解除します

(お名前:

発行:株式会社グローバルスズキ

兵庫県神戸市灘区城の下通2-3-31

TEL: 078-200-6531

FAX: 078-200-6537

